

Fukui GAP Association（福井県）

JGAP 米（粳、玄米）2020年団体認証取得

所在地：福井県福井市ほか
応募区分：団体の部

栽培面積：約500ha（JGAP認証農場）
構成員：19農場（うち11農場がJGAP認証農場）
栽培品目：水稻



FGA設立総会

▼GAPに取り組んだきっかけ

- 福井県では県が中心となってGAPの推進に注力し、普及指導員がGAPを指導するとともに、その指導を受けた農家が地域の農家を指導する取組を推進。
- GAPに関心を持つ稲作の認定農業者（11農場）が会員となり、GAPを県下に普及するため、平成31年にFukui GAP Association（FGA）を設立。令和2年に穀物（米）でJGAP団体認証取得。

▼GAPの継続に向けた取組

- 令和2年度、県下初のJGAP団体認証（穀物）を取得。（全国4件のうちの1件）
- 会員が県下に散在するため、JA等が事務局となり認証取得手続きを進める従来の団体認証の方式ではなく、会員間で話し合いながら必要な対応を進める新たな方式を構築。
- 設立当時、会員11農場のうち10農場で、JGAP団体認証を取得。会員が講師となりGAPへの関心が高い県内の農業者を指導し、令和3年度に、会員を19農場に増やし、うち新たにJGAP認証の適合基準をクリアできるレベルに到達したことが確認された農場を加え、団体認証の構成員を13農場に増やす予定。
- 県の要請に応じて会員をGAP講師として派遣。GAP初心者向けに、GAPの理解が進むよう「GAP手引書」を独自に作成し、希望する農業者に配布し指導。

▼生産効率等の向上に向けた取組とその効果

- 会員の優れた改善例やリスクを共有するため、勉強会や現地検討会を定期的で開催し、乾燥機やドローン防除等の「ヒヤリ、ハット」と対策を共有。会員間で作業ミスの事例等を発表し合い、再発防止策を検討し、事故の未然防止につなげている。

▼波及効果

- GAP認証米を有利販売するため、県下でエシカル消費を推進する県民生協と契約し、GAPをPRするオリジナルパッケージによるGAP認証米3,000俵を、非GAP認証米との単価差約1,000円/俵で販売。



FGA参加会員の勉強会
（2か月に1回実施）



FGAが作成した「GAP手引書」